

備北ナカポツ だより

BIHOKU NAKAPOTSU NEWS
No. 28

●発行所／三次市十日市東三丁目14-1 三次市福祉保健センター1F TEL.(0824)-63-1896
一般社団法人備北地域生活支援協会 備北障害者就業・生活支援センター 〈発行人〉森末博雄

令和元年
11月1日発行

職場拝見



今回は「宅急便」で知られる「ヤマト運輸株式会社三次主管支店」を訪問し、河邊ベース長と社員の熊澤さんにお話を聞きました。



河邊ベース長

ヤマト運輸三次主管支店の概要をお話しください。

三次主管支店は松江市を除く島根県全域と広島県東部をエリアとし、43の営業所を統括しています。社員数は1457名で内訳はドライバー686名、事務308名、作業463名となっています。



三次ベース店

障害者雇用の状況について教えてください。

現在、三次主管支店ではベース店に11名、各センターに10名の計21名の障害者が勤めています。そのうち4名が正社員として働いています。ヤマト運輸は二代目社長である故・小倉昌男が1993年に「ヤマト福祉財団」を設立し、障害者の自立と社会参加の支援を進めてきました。また2001年には特例子会社である「株式会社スワン」を設立しました。こうした経緯もあり、ヤマト運輸全体として障害者の雇用には全社を挙げて積極的に取り組んでいます。

障害者を雇用するうえでの配慮について教えてください。

特に他の社員と比べて特別扱いをすることはありませんが、個々のレベルに応じて仕事は振り分けています。また、実際に色々な業務をやってみると、得意分野を見つけています。困ったときには作業リーダーやグループ長、支店長が対応することとしています。

ナカポツセンターの
関りについて一言

これからも障害者雇用を進めていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。また、他の企業

の情報も聞かせてもらえればと思います。

私たち
羽ばたいています!



社員の熊澤さん

熊澤さんの入社の際の経緯や仕事について聞かせてください。

私は2014年の11月にヤマトに入社しました。庄原特別支援学校を卒業して、庄原市内の通所施設を利用していましたが、ナカポツの支援をいただけてヤマトに入ることができました。

仕事の内容は、入ってきた荷物を各地域に分ける方面別仕分けを行っています。

仕事をするうえで
気をつけていることがありますか。

ほかの人にけがをさせてはいけないので、ボックスの移動などには特に注意しています。また「仕分けを間違えれば、その先にいるお客さまに迷惑をおかけする」ということを肝に銘じて仕事をするようにしています。

働き始めて
よかった点はありますか。

実家が近いので通勤は助かっています。また、小さい時から地図を見るのが好きで、色々な荷物が全国に運ばれる仕事にやりがいを感じています。

これからの目標がありますか。

今は、到着した荷物を配達エリア内へ仕分ける仕事ですが、将来は発送作業をして全国に荷物を届けていきたいです。

ナカポツへの要望がありますか。

私は通所施設から一般就労することができました。これからもナカポツや就労移行支援事業所などが力を合わせて、仕事をしたい障害者の就職に繋がっていただきたいと思っています。



事業所紹介

今回は、医療法人新和会(※)が運営する就労支援事業所「晴ればれ」を訪問し、サービスマanager責任者の亀山さんにお話を聞きました。

最初に事業所紹介を

お願いします。

「晴ればれ」は指定就労継続支援B型事業所で、2019年3月18日に開所しました。事業所では次の5つの作業を行っています。



施設全景



亀山さん



カフェ内部



厨房

事業所の利用対象者や定員、
利用時間などを教えてください。

利用対象者は障害福祉サービス受給者証をお持ちの方ならどなたでもご利用頂けます。

定員は20名で現在6名の利用者がいます。利用時間は9時30分から15時までで、土・日・祝日は原則お休みです。

事業所の特徴を教えてください。

① 利用者の体調や状況に応じた時間設定が可能となっています。例えば1日30分の利用から始めることもできます。また、日によって利用時間の変更ができるなど臨機応変に対応します。

② 施設は病院に隣接し、いざという時安心です。また、事業所に社会福祉士や精神保健福祉士に加え、看護師、作業療法士がいることは大きな特徴です。

③ カフェ「晴ればれ」はどなたでも利用できます。営業時間は火曜日から金曜日(祝日除く)の10時30分から14時までで、週替ランチやドリンク、デザートを用意しています。

ランチは1食450円ととてもリーズナブルで、デザートも手作りで提供しています。

- ① カフェの運営
6月18日にオープンしたカフェ晴ればれで、飲食を提供します。調理や接客、片づけや掃除などの作業があります。
- ② 古紙回収
敷地内の病院や施設から古紙を回収し、業者へ搬入します。
- ③ ワゴン販売
法人内の三次病院へお菓子の訪問販売や売店での準備、片づけなどをします。
- ④ 病棟作業
三次病院内の掃除をします。床やベッド周りの拭き掃除などがあります。
- ⑤ 屋内作業
三次病院で使用するおしぼりをたたむ作業をします。

これからの計画が
何かありますか？

今は利用者の送迎はしていませんが、希望があれば片道30分程度の範囲内で行いたいと考えています。また、カフェもメニューを充実させていきたいと思っています。

(※)医療法人新和会は三次市粟屋町にあり、二次病院や介護老人保健施設ピレネなどを運営しています。

取材を終えて

取材当日のランチは「煮込みハンバーグセット」でもおいしくいただきました。ライスの大盛りやドリンクセットは+50円、デザートセットは+150円ととてもお得です。

皆さんも一度ご利用されてはいかがでしょうか。



メニュー看板

煮込みハンバーグセット



企業見学会報告

令和元年7月25日(木)、岡山県井原市にある「青山商事井原商品センター」を見学しました。

概要

井原商品センターは洋服などの商品を全国の店舗に配送するための物流基地で、従業員115名のうち53名が障害者で障害者雇用率は46%となっています。

業務を開始した1999年には障害者の従業員数は1人でしたが、センター長がジョブコーチの資格を取得した2011年から積極的に障害者雇用を進め、現在に至っています。

障害者の社員は入社後、ハートユニット班に所属し、特性を見て各部署に配属されます。

継続した雇用をしていくために次のような取り組みがされていました。

● 3か月に1回の相談員ミーティング

● 年1回の会社、本人、家族、支援員による四者懇談会の開催

● 障害特性に関する勉強会や反省会の開催

● 岡山の職業センターとの連携によるジョブコーチ支援

● **仕事をやりやすくするために次のような工夫がされていました。**

● ホワイトボードを使用し、一日の作業内容を見える化

● 誰でも理解できる様に写真付きのマニュアルを作成

● 翌日のスケジュールは夕礼で確認

● 毎日の作業日報による自己チェックと支援員のアドバイス

● **できるだけ休まず就業を続けてもらうために次のような取り組みがされていました。**

● 毎日の朝礼で健康チェックを行う。

● 人間関係でのトラブルは早期対応



① 当事者たちを聴取し、誤解を解く(思い違いのケースが多い)

② 関係性が改善されない場合は、作業の配置換え

● ストレスサインの把握(ストレスが溜まっていれば、声掛け等の対応)

● トラブルがあればすぐミーティングし、情報共有

とにか、問題は小さい芽のうちに摘み取ることが大切であるとお話しました。

作業をされている皆さんの表情が明るく、あいさつも丁寧で気持ち良いものでした。何より、活き活き働いておられる姿が印象的でした。

お知らせ

障害者雇用企業担当者交流会

障害者を雇用されている企業等の経営者や担当者を対象として、日ごろの悩みや心配事などをお互いに出し合い、他の企業での具体的な取り組みなどの情報交換を通じて今後の業務の参考としていただくための交流会を開催します。これから障害者の雇用を考えておられる企業の方も大歓迎です。ぜひ、多くの皆様の参加をお願いします。



- と き / 令和元年11月28日(木)午後1時30分～
- と ころ / 三次市福祉保健センター 4階 研修室
- 内 容 / 障害者を雇用されている企業等の担当者や障害者と一緒に仕事をされている社員の皆さんから日頃の悩みや不安などを出してもらい、それに対してどのような解決策があるかをグループワークにより考えていきます。
- 参加対象者 / ◎企業の経営者等
◎企業において障害者支援を担当する職員
◎企業において障害者と一緒に働く職員
◎これから障害者を雇用しようとする企業の担当者
- 参加申込 / 11月22日(金)までに備北障害者就業・生活支援センターまで
電話(0824-63-1896)またはファックスでお申し込みください。

就活支援交流会を開催します



「仕事に就きたいけどなかなかその気になれない…」
「まわりの人とうまく仕事ができるか不安…」

就職するための色々な心配事や不安を当事者同士で話し合う交流会を次のとおり開催します。今回の交流会は、現に仕事をされている精神障害者の方からお話を聞くことを中心として進めていきます。

- と き / 令和元年12月21日(土)午後1時30分～
- と ころ / 三次市生涯学習センター 2階 第2講義室
- 参加対象者 / ナカポツへ登録されている精神障害者または発達障害者
- 内 容 / 仕事をしたいと思っている方と実際に仕事に就いている方との交流を、WRAP(元気回復行動プラン)を通じて行い、求職者の就労へとつなげる。

センター活動実績 (令和元年10月24日現在)

●就職者数 344件 (H22年4月から累計)

●企業実習 227件 (H22年4月から累計)

職種

就職先:食品製造、製造業、福祉施設、林業
病院、日用品販売量販店、農業、建設業etc

編集後記

広報誌の名称を、これまでの「備北・センター」だよりから「備北ナカポツ」だよりに変更しました。「ナカポツ」とは「障害者就業・生活支援センター」の通称名でまん中に「・」があることからつけられました。これからも「ナカポツ」をどうかよろしくお願いします。

今頑張っていること

9月から
家族になった
豆柴“めい”の
子(犬)育て



新職員紹介

一言

上田 さつき

澤井さんの産休代替として勤務させていただきます。この仕事は初めてですが、ご指導・ご助言をいただき頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。